

生物多様性条約 SBSTTA22 生物多様性と気候変動について

日本国際湿地保全連合
長倉恵美子



注目したテーマ

- 議題 9
生物多様性と気候変動：気候変動適応および防災・減災のための生態系に基づくアプローチ
- Item 9
Biodiversity and climate change:
ecosystem-based approaches to climate
change adaptation and disaster risk
reduction

これまでの流れ

- COP13
 - 決議XIII/4 生物多様性と気候変動、パラグラフ10
 - 「気候変動への適応および防災・減災のための生態系に基づくアプローチの設計および効果的な実施のための任意ガイドライン」の作成を要請
 - UNFCCC、国連国際防災戦略事務局(UNISDR)など関連組織との協力
- 2017年11月 専門家ワークショップ
- 2018年1～2月 ピアレビュー
- 2018年4月
SBSTTA22にむけたガイドライン案の提示

任意ガイドライン案の概要

- 生態系を活用した気候変動への適応と防災・減災の計画と実施のためのフレームワーク
- 締約国、その他の政府、関連組織、先住民民族と地域コミュニティ、ビジネス、民間セクター、市民社会が利用することを想定
- 構成
 - 政策決定者むけのサマリー
 - 生態系を活用した気候変動への適応と防災・減災に関する基本的な用語などの紹介
 - 原則とセーフガード
 - プロセスと各ステップの解説

SBSTTA22におけるコメント等

- 多くの締約国が提案されたガイドラインを歓迎
- 生物多様性条約とUNFCCCの相乗効果の促進、他の条約との協力
- UNFCCCのNDC（国別目標）を更新する際に生物多様性を考慮
- 気候変動に関する懸念を生物多様性国家戦略へ統合
- 多くの開発途上国が能力開発と資金の必要性を強調

SBSTTA22におけるコメント等

- グローバルな気温上昇を1.5°C以下に保つことが重要
- 生態系を活用した気候変動への適応策の費用対効果の高さ
- 女性、ユース、先住民族と地域コミュニティの役割の重要性
- ステークホルダーの参加
- 泥炭湿地の保全の必要性

関連サイドイベント

- タイトル

Better Tools and Standards:
Enhancing Effectiveness and
Mainstreaming of Ecosystem-based
Adaptation

- 日時 7月3日 18:15～

- 主催 IISD、IUCN

- 話題提供

UNEP、IISD、
IUCN WCPA、WWF、
UN Environment WCMC



関連サイドイベント

- UNEP

- Ecosystem-based Adaptation through South-South Cooperation (EbA South) Project
- 資金提供: GEF
- セイシェル
- ネパール
- モーリタニア
- 能力開発
- ウェブプラットフォームの提供



関連サイドイベント

- IISD

- ALivE (Adaptation, Livelihoods and Ecosystems Planning Tool)
- 分析ツール
- プロジェクトマネージャー等実務者むけ
- プロジェクトのデザイン、評価指標など



関連サイドイベント

- IUCN WCPA
Co-benefits for Biodiversity and Climate Change
 - 太陽光発電と
生物多様性

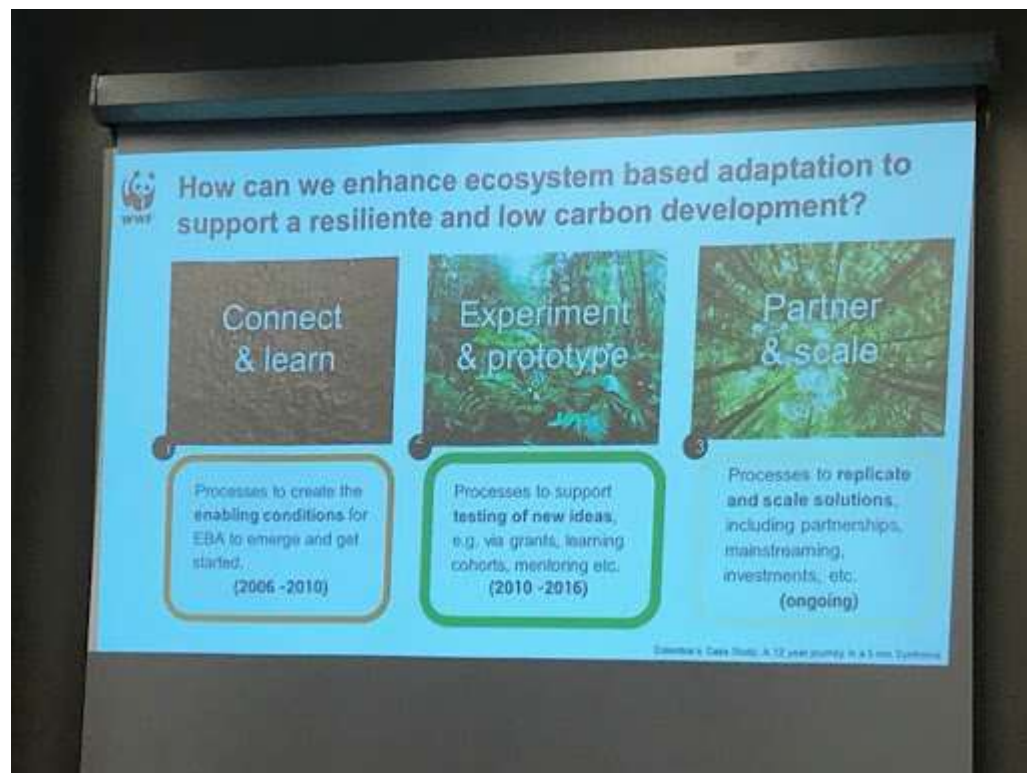


関連サイドイベント

- WWF

Colombia's Case Study

- コロンビアでのEbAの変化
- 気候変動の政策
- 国としてのガイドライン



関連サイドイベント

- UN Environment WCMC

A Navigator of tools and methodologies for EbA practitioners and planners

- ナビゲーター
- ツールと手法のデータベース
- 200以上のツールが存在

